
全国フードバンク推進協議会の 取り組みについて

2018年7月22日

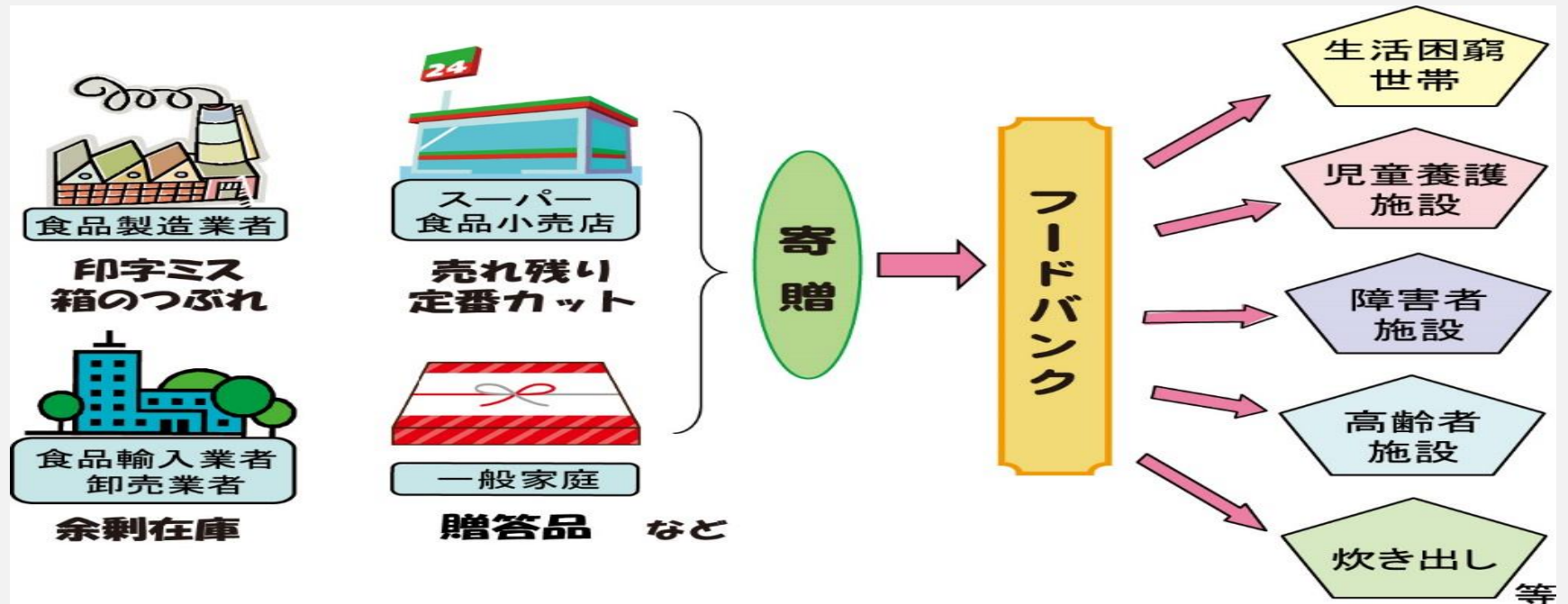
一般社団法人全国フードバンク推進協議会
事務局長 米山広明

目次

1. フードバンクとは？
 2. 国内フードバンク活動の現状と課題
 3. 全国フードバンク推進協議会の取り組み
-

1. フードバンクとは？

安全に食べられるのに、箱が壊れたり、印字が薄くなったりして、販売できない食品を企業などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。



- ・日本でまだ食べられるのに捨てられている食品は年間**646万トン**(平成27年度農水省推計)で、国民1人1日当たりほぼ1食分が廃棄されています。
- ・企業は廃棄コストを削減することができ、地域の社会貢献にもなります。
- ・フードバンクは**もったいないを、ありがたいに変える**活動です。

寄贈される食品の例

外箱の破損



販売期限切れ・返品



防災品

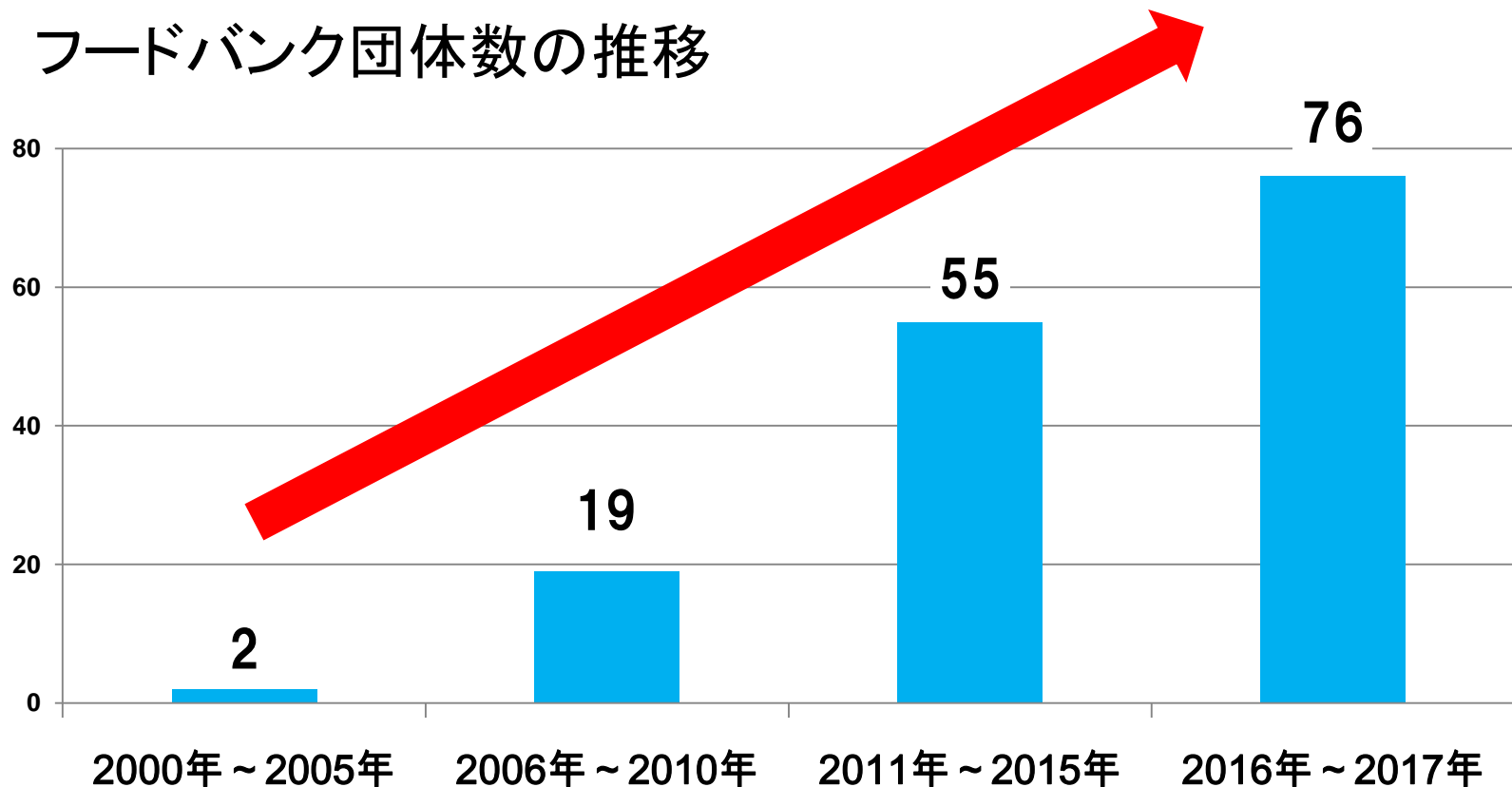


贈答品など(一般家庭)



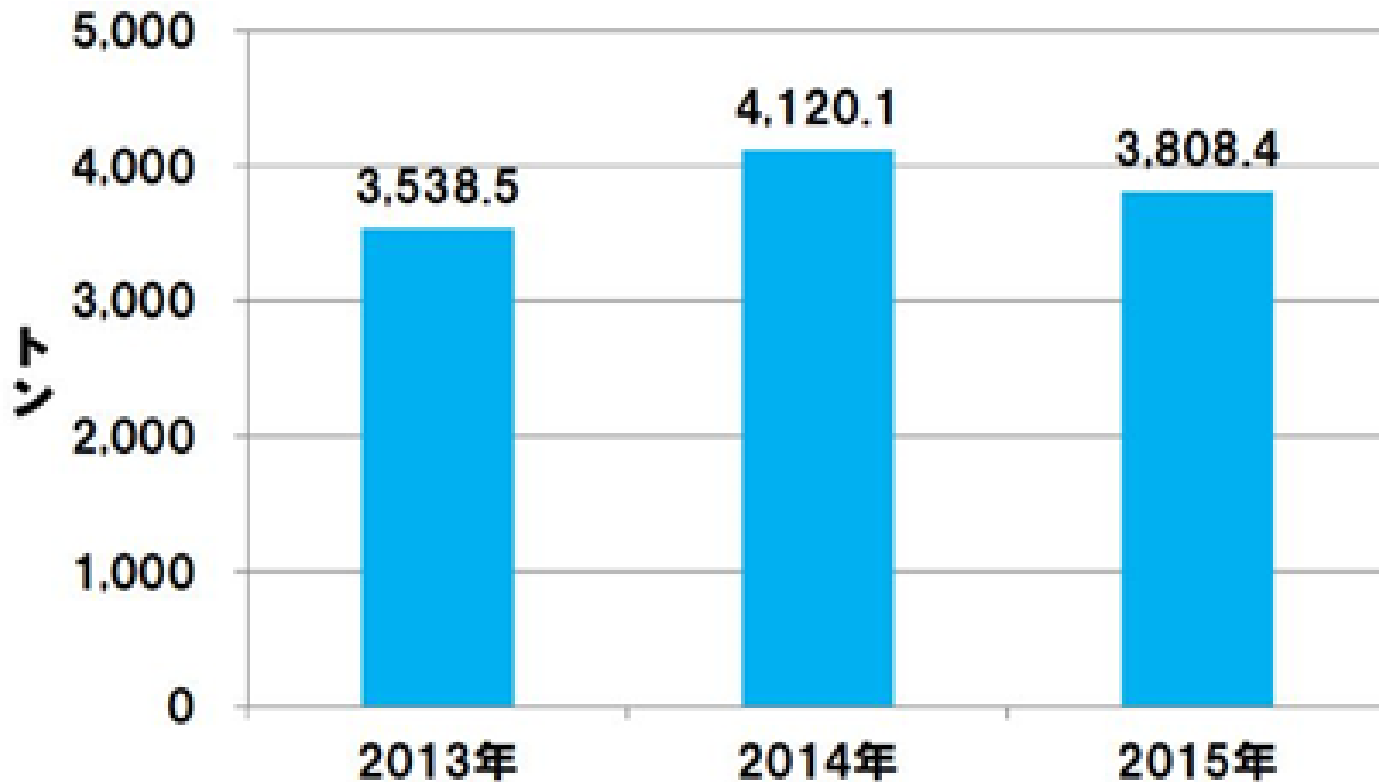
2. 国内フードバンク活動の現状と課題

フードバンク団体数の推移



- フードバンクは日本国内では2000年頃から活動を開始。
- 最初の10年間で21団体が設立され、その後の7年間で76団体まで増加している。
- 44の都道府県で最低1つ以上の団体が活動している。

フードバンク団体の食品取扱量の推移



- 食品取扱量は団体数の増加ほど増えていない。
- 生活困窮者自立支援法による相談窓口の増加、こども食堂の増加（全国2,286ヶ所）に伴う支援ニーズに応えることが出来ていない。

海外のフードバンクと法整備

①アメリカのフードバンク

- ・ アメリカでは1967年に活動開始
- ・ フードバンクから食料支援を受けている困窮者は全米で年間約3700万人。その内1400万人(38%)が子供。
- ・ フィーディング・アメリカ(アメリカの全国組織)の年間取扱量は約77万トン(2014年)。

②フランスのフードバンク

- ・ フランスでは1984年に活動開始。
- ・ フードバンクから食料支援を受けている困窮者は年間82万人。

- ・ 助成金制度
- ・ 農務省が買い上げた余剰農畜産物の提供
- ・ 食品寄贈者の責任を免除する法律(ビル・エマーソン食料寄附法)
- ・ 寄付者の税制優遇制度



- ・ 政府が生鮮品を提供
- ・ 寄付者の税制優遇制度
- ・ 地方自治体による資金援助
- ・ 地方自治体の雇用支援制度により有給で職員雇用
- ・ 食品廃棄防止対策の義務づけ



全国フードバンク推進協議会設立の背景

社会的課題

食品ロス……まだ食べられるのに廃棄される「食品ロス」が年間646万トン発生

貧困問題……生活保護受給者は214万人を超え、潜在的な貧困層はその数倍存在すると考えられている。貧困率も15.6%でOECD加盟国の中でも高い。

国内フードバンクの概況

フードバンクは日本国内では2000年頃から活動を開始。

NPOや任意団体を含めると、現在全国に77のフードバンク団体が存在するものの、食品ロスや貧困問題等の社会的課題の解決手段としての役割は十分に果たせていない。

国内フードバンクの共通課題

- 寄贈食品の確保
- 行政との連携
- インフラ面の改善(事務所・倉庫・配送用車両等)
- 人材確保
- 運営費の確保
- ノウハウの不足
- 人材育成……etc

国内フードバンク活動の発展には、日本各地のフードバンク団体の共通課題の解決や、欧米の様なフードバンクを推進する為の法整備が必要。



2015年11月 全国フードバンク推進協議会設立

全国フードバンク推進協議会 加盟団体

NPO法人フードバンク岩手
一般社団法人フードバンクあきた
NPO法人フードバンク茨城
NPO法人フードバンクネット西埼玉
フードバンクちば
NPO法人フードバンクにいがた
認定NPO法人フードバンク山梨
NPO法人NPOホットライン信州
NPO法人POPOLO
フードバンク滋賀
NPO法人セカンドハーベスト京都
フードバンク高知
NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
社会福祉法人南苑会熊本藤富保育園 (フードバンク熊本)
NPO法人Joyステーション (フードバンクお助けマン霧島)
NPO法人フードバンク狛江
NPO法人フードバンクTAMA
順正デリシャスフードキッズクラブ (学校法人 順正学園)
NPO法人フードバンク和歌山
NPO法人フードバンクとくしま
NPO法人Wish
NPO法人フードバンク福岡
フードバンクしばた
NPO法人フードバンク八王子えがお
フードバンク調布
NPO法人ふうどばんく東北AGAIN



3. 全国フードバンク推進協議会の取り組み

1. 政策提言・調査研究

関係省庁への政策提言、フードバンク活動の推進に必要な情報収集、調査研究事業

2. 広報

日本国内のフードバンクの認知度や信頼性を高めるための広報活動

3. ノウハウ共有・新設フードバンク団体支援

個々のフードバンク団体へのノウハウ支援、研修会の開催、新設団体の立ち上げ支援

4. 食品等のマッチング

食品や活動資金等、フードバンク活動の推進に必要な資源の分配

農林水産省へ意見書を提出



加盟17団体からの意見を集約し2016年9月5日(月)
農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対
策室へ意見書を提出

「食品ロス削減推進法案」 緊急院内集会の開催



2018年6月13日

全国各地のフードバンク団体関係者や子ども食堂、メディア、企業、一般の方々、約100名が参加。超党派の国会議員18名（その他秘書の代理出席は26名）が参加

全国フードドライブキャンペーン



岩隈久志 選手



～日本を代表する投手 岩隈久志選手
からのあたたかい応援メッセージ～



「子どもを含む生活に困窮する方々の為に少しでも役に立てるよう、私、岩隈久志も野球での活躍を通じてフードドライブをサポートしております！みんなで力を合わせましょう！」

フードバンク山梨 第12回フードドライブ

フードドライブとは職場やご家庭で食品を集めご寄付頂くキャンペーンです。寄せられた食品は当法人が支援する困窮世帯等へお届けします。皆様のご協力をおねがいます。

12月1日～1月31日の期間でフードドライブを全国各地のフードバンク団体が実施。 2015年11トン→2016年21トン→2017年43トン

Jリーグとの連携 試合会場でフードドライブを実施



試合当日に各クラブからスタジアムに
設置されるブースをご提供いただき、
フードドライブを実施

フードバンク団体とサッカーチームの連携事例

2017年度は6つのフードバンク団体と地元サッカークラブが連携

連携した サッカーチーム	フードバンク団体	会場	該当試合	開催日
ヴァンフォーレ 甲府	認定NPO法人 フードバンク山梨	山梨中銀スタジアム ヴァンフォーレ パーク内特設テント	J1リーグ第15節 柏レイソル戦	6月17日
水戸ホーリー ホック	NPO法人 フードバンク茨城	ケーズデンキスタジア ム水戸 水戸電力 イベント広場	J2リーグ第35節 松本山雅FC戦	9月30日
京都サンガF.C.	NPO法人 セカンドハーベスト京都	西京極スタジアム フ レンズスクエア内 特設ブース	J2リーグ第35節 ジェフユナイテッド 千葉戦	9月30日
鹿児島ユナイテッド FC	フードバンクお助けマン霧島 (NPO法人JOYステーショ ン)	鹿児島県立鴨池陸上 競技場 場外ブース	J3リーグ第25節 ブラウブリッツ秋田戦	9月30日
ギラヴァンツ 北九州	NPO法人フードバンク 北九州ライフアゲイン	ミクニワールド スタジアム北九州	J3リーグ第25節 SC相模原戦	10月1日
FC町田ゼルビア	NPO法人 フードバンクTAMA	町田市陸上競技場	J2リーグ第39節カマタ マーレ讃岐戦	10月29日

シンポジウムの開催 周知啓発



2015年11月13日
全国フードバンク推進協議会
設立記念シンポジウム



2017年6月24日
「～フードバンクと
子どもの貧困の今～」

ノウハウ共有・新設フードバンク団体支援



(1) ノウハウ支援

電話での支援	57回
スカイプ	26回
メール	46回
訪問・対面支援	13回
全体への情報発信	14回
資料提供	62回
合計	218回



(2) 研修会の開催

フードバンク団体等の非営利団体の組織基盤強化を目的として、広報、組織運営、トーレーサビリティシステム等に関する研修会を計5回開催



災害時の取り組み

平成28年4月14日
熊本地震発生

4月17日
現地に入り支援
活動開始



被災地への支援として備蓄していた食品を発送

嘉島町役場への食品提供



子供の未来応援マッチングネットワーク推進協議会への参画

国、地方公共団体、民間の企業・団体等によるネットワークを構築するため、平成29年3月30日(木)に「子供の未来応援マッチングネットワーク推進協議会」が発足



全国フードバンク推進協議会もフードバンクの全国組織として参画しており、支援企業とフードバンク団体とのマッチングの窓口となり、支援に関する調整等を行っています。

協力企業・団体



2017年度は15の企業や団体から防災食品や飲料、お菓子など
合計66.5tの寄贈をマッチング